

Nishi-Nippon Financial Holdings

DISCLOSURE 2016

平成28年度 中間ディスクロージャー誌



西日本FH

西日本フィナンシャルホールディングス

目次

ごあいさつ 2

経営方針 3

持株会社体制について 5

平成28年9月期業績ハイライト

預金・預り資産、貸出金の状況 [NCB単体・NCBグループ合算] … 11

損益の状況 [NCB単体・NCB連結] …………… 12

自己資本比率（国内基準）の状況 [NCB連結] ……… 12

金融再生法開示債権の状況 [NCB単体] …………… 12

「New Stage 2014～汗をかこう～」トピックス 13

資料編

目次 …………… 30

連結ベース …………… 31

単体ベース …………… 46

自己資本の充実の状況 …………… 71

開示項目一覧 …………… 94



【グループ経営理念】

私たちは、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力No.1の地域金融グループを目指します。

【グループブランドスローガン】

ココロがある。コタエがある。

【シンボルマーク】



このシンボルマークは、未来を拓くエネルギーである「太陽」と、躍動感あふれる「羽」をモチーフとしています。放射状に伸びる羽は、無限に広がる未来を表現しています。さらに、淡いオレンジから深いオレンジへと変化を重ねる姿には、西日本FHグループを未来に向けて進化・変革させていこうという決意が込められています。

プロフィール

商号	株式会社西日本フィナンシャルホールディングス
設立	平成28年10月3日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	500億円
事業内容	銀行その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに付帯関連する一切の業務
決算期	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所及び福岡証券取引所
単元株式数	100株

(平成28年10月3日現在)

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	186か店
従業員数	3,845名
総資産	9兆1,270億円
預金・譲渡性預金残高	7兆6,961億円
貸出金残高	6兆3,759億円

(平成28年9月30日現在)

- 本資料は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。
- 計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。



西日本フィナンシャルホールディングス 取締役社長
(西日本シティ銀行 取締役頭取)

谷川 浩道

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

まず昨年を振り返ってみますと、わが国経済は、個人消費にやや弱い動きが見られましたが、雇用情勢の改善や設備投資の持ち直しなどにより、総じて景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、熊本地震の発生、イギリスの国民投票でのEU離脱派の勝利、博多駅前での大規模な道路陥没事故の発生、アメリカの大統領選挙でのトランプ氏当選など、想定外の出来事が続いた1年間でした。それら多くの想定外の出来事の中でも、金融界に最も大きな影響を与えたのが日本銀行によるマイナス金利政策の導入でした。今後、同政策が継続される中で、各金融機関にとっては、どのように収益を確保するかということが、共通の、かつ差し迫った課題となっています。

このような状況において、西日本シティ銀行の平成29年3月期中間決算は、貸出金量・預金量が相当程度増加したものの、マイナス金利政策の影響により減収・減益となりました。しかしながら、中期経営計画「New Stage 2014～汗をかこう～」の4つの基本戦略「人間力の向上」、「考える営業の定着」、「まるごとサポートの充実」、「営業領域の拡大」に掲げるさまざまな施策は、全体としてほぼ計画どおりに進捗しています。具体的には、創業応援サロンや創業カウンセラーを通じた創業支援融資・リースの積極的な推進、QBファンドをはじめとする各種ファンドを通じたビジネスの創造、海外ビジネス支援のサポート、個人のお客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対する最適なサービスの提供、店舗チャネルの一層の充実やデジタルチャネルの機能強化、さらにはICTインフラの整備などに積極的に取り組み、同行の「領域拡大・質的発展」に努めてまいりました。今年度は、現中期経営計画の最終年度であり、役員一同、目標の達成に向けてさらに邁進してまいります。

平成28年10月3日、西日本シティ銀行グループは、西日本フィナンシャルホールディングスグループとして新たにスタートしました。当社グループでは、グループ経営戦略として、「お客さま・地域の期待を超えた総合金融サービスの展開」と、「グループ経営管理態勢とリスク管理態勢の高度化」を推進することにより、グループ総合金融力を一段と進化させ、「地域経済へのさらなる貢献」と「グループ企業価値の最大化」を目指してまいります。これからも引き続き、地域に根ざした総合金融グループとして、時代の変化を先取りし、熱い「ココロ」で、お客さまの期待を超える「コタエ」を提供していく決意でございますので、西日本フィナンシャルホールディングスグループを末永くご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

平成29年1月